



★八王子中だより★

★学校教育目標 『 大志を抱け ひとみ輝く 八中生 』
～ 賢く 豊かに 逞しく ～



★令和8年5月29日(金) さいたま市立八王子中学校学校だより 6月号

★HP アドレス <http://hachioji-j.saitama-city.ed.jp/> (生徒の学校生活の様子等をHPにアップしています)

チームワーク

校長 酒井 和浩



5月30日(土)から、市学校総合体育大会が始まります。3年生の運動部員にとっては最後の公式戦となり、負けた時点で引退となります。プレッシャーがかかる中ではありますが、試合中どのような場面になろうとも、仲間を信じ、最後まで全力を尽くしてくれることを期待しています。

アメリカ大リーグ・ホワイトソックスで活躍している村上宗隆選手は、日本で三冠王を獲得し、現在もホームランを量産するスーパースターとして知られています。実際、メジャー1年目にもかかわらずホームラン数でリーグトップを争うなど、大きな注目を集めています。しかし、そんな村上選手が評価されているのは、決してホームランだけではありません。ある試合のチャンスの場面で、村上選手は二ゴロに打ち取られましたが、村上選手は全力で一塁へ走りました。その走塁は、ダブルプレーを防ぎ、その後、チームは得点につなげることができました。また、別の試合の9回の重要な場面で、村上選手が四球を選んで出塁し、その後、チーム全体でチャンスを広げて逆転勝利につなげました。これらのプレーは、ホームランのように目立つものではありませんが、チームにとっては非常に価値のあるプレーです。実際、チームメイトは村上選手のことを「チームをひとつにする存在」「チームを近づける選手」と話しています。つまり、村上選手のすごさは「自分が目立つプレー」だけではなく、「チームのために当たり前のことを全力でやる姿勢」にあるのです。

これは学校生活にもそのまま当てはまります。クラスの中では、発表する人やリーダーの人が目立つことが多いかもしれませんが、しかし、全員が時間を守ったり、声をかけ合ったり、準備を手伝ったりすることで、集団の活動はうまくまわります。私たち一人ひとりの行動も、実は小さく見えて大きな意味を持っています。村上選手のように、「全力で走ること」や「仲間を助けること」、そのような些細なことの積み重ねが、集団を強くするのです。小さくても「ひとりの力」を結集して「みんなの力」とし、同じ方向に向けていくことが大切です。それが「チームワーク」ではないでしょうか。目立つことだけ行う人がいても、集団はうまくまわりません。5月23日(土)に本校で体育祭を実施しましたが、そのような気持ちを持った行動がいろいろな場面で垣間見ることができたことをうれしく思います。

村上選手は、英語がまだ上手に話せないそうです。しかし、チームメイトとの人間関係を構築するために、自ら進んでコミュニケーションをとり、仲間から愛されるキャラクターとなっているそうです。このことから、どんなに力のある人でもチームのためにプレー以外の些細なことを全力で取り組むという素晴らしさを感じます。生徒にも市学校総合体育大会の試合だけではなく、中学校生活のいろいろな場面において、集団のために「小さなことでも全力で」取り組む姿勢を身につけてほしいものです。